

＜国産花きの強みと課題＞

- ・花きの産出額は長らく漸減傾向にあったが、新型コロナウイルス感染症拡大後の需要の変化により、増加に転換。
- ・高品質な国産花きは国際的にも高い評価。切り花を中心に輸出拡大に期待。
- ・他方、近年の高温による生産の不安定化、国内生産・消費の縮小が課題。

＜施策の方向＞

生産量その他の花き産業の振興の目標（億円）

	R4実績	R12目標
産出額	3,684	〇〇
輸出額	91	〇〇
輸入額	594	〇〇

生産基盤の強化

- ・需要に基づく花きの安定生産・安定供給を図るため、需要期に合わせる生産技術や生産基盤の整備が必要
- ・深刻化する温暖化の影響を回避・軽減するための技術・品種開発が必要

消費データの還流

- ・需要に基づく花きの生産を図るため、国内外の需要動向を産地にフィードバックする仕組みが必要

輸出産地の育成

- ・国際的に高い評価を得ている国産花きの輸出を拡大するため、輸出に取り組む産地の育成を進める必要

世界に誇る花き文化

- ・花きの文化の振興は、国民の心豊かな生活の実現に貢献

需要の変化への対応

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大以降の需要の変化に対応する必要

地球温暖化に対応した生産技術の導入

- ・高温障害を回避・軽減する開花調整技術や病害虫対策の導入、高温耐性・日持ち性等の特性を有する新品種開発を推進

生産基盤の整備

- ・生産基盤の維持・強化に資する既存ハウスの流動化や機能強化等を推進
- ・ロボット・データ駆動型農業等のスマート農業技術の開発・導入を推進

花き産業横断的な情報連携

- ・卸売市場や小売業者が有する販売データを基にした需要情報を花き業界関係者が共有し活用する仕組みを構築



輸出の促進

- ・フラッグシップ輸出産地などの輸出対応産地の育成、産地間のリレー出荷の推進、産地における輸出拠点の整備等を推進

輸出対応産地



輸出拠点



花きの文化の振興

- ・花育や日常生活における花きの活用を推進
- ・若年層が関わる花きの新たな文化の創出を推進

公共施設・まちづくりでの活用



花きの需要の増進

- ・消費者と生産者との交流や国際園芸博覧会（GREEN×EXPO 2027）を契機とした需要の喚起、環境に配慮した花材・資材の利用等による需要の創出を推進